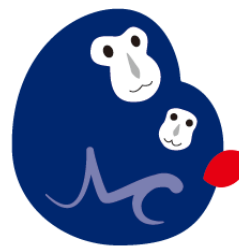


# F A X 送 付 状



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位  
送信枚数 本紙を含めて 2枚  
送信日 2017年 11月 25日

## 大型類人猿の脱出を想定した対策訓練を実施します

本格的な寒さがやってまいりました。皆さまお元気でお過ごしのことと拝察いたします。

さて、日本モンキーセンターでは今年も大型類人猿脱出時対策訓練を実施いたしますので、お知らせいたします。実施日は11月28日(火)です。

2000年8月19日に起こした事故から17年が経過しました。日々、反省し業務を迫行するため毎年訓練をおこなっています。世代交代の波もあり、当時を知るスタッフがほとんど居なくなりました。この訓練は、私たちの仕事が、常に「危険動物を扱う仕事」と認識し、緊急時に一人一人が何をするか、どう連携し行動するかを確認するとともに、現職員全員が過去の事故を把握することを目的に行います。

今回の訓練では、若手スタッフが中心となり行動します。麻酔銃を車の中から発射(模擬)する、初めての試みを行います。過去の過ちを繰り返さないように、スタッフ一同この訓練で気を引き締めます。

**実施日：2017年11月28日(火) 雨天決行**

**時間：13:00~13:45**

**参加者：モンキーセンター全職員(約30名)**

**想定：集中豪雨により、園内施設が崩壊。アフリカセンターよりニシゴリラが逃走。捕獲班、麻酔班、避難誘導班、救護班に分かれ、ニシゴリラの捕獲とお客様の誘導、救護をおこなう。**

### ◇訓練紹介

日本モンキーセンターは、毎年2回の訓練に真剣に取り組んでおります。1回は計画担当者1名以外、想定はもちろん日程も時間も知らされず、突然実施する「**招集訓練**」です。休みの職員は携帯電話などでモンキーセンター到着までの時間を報告するなどして、よりリアルなデータを収集し、万が一に備えます。もう1回はある程度の想定を元に、ほぼ全職員が参加して実施する「**総合訓練**」です。

今回の訓練は「**総合訓練**」になります。総合訓練では30名以上の職員が参加し、避難誘導、救護、捕獲や連絡など、それぞれの役目に応じて訓練に参加、問題点の洗い出しなどを行います。捕獲にはサスマタ、捕獲ネット、催涙スプレー、麻酔銃などを用います。(※麻酔銃は法律により模擬銃を使用します。)

※脱出したゴリラ役(飼育スタッフ)がどのような行動をとるか、シナリオに合わせ訓練します。

脱出場所はアフリカセンター、捕獲場所は入園ゲート前の駐車場を想定しています。

※訓練では、ゴリラに接触した飼育員1名が負傷します。園内作業員からも1名のケガ人が発生します。

計2名のケガ人を、救護班が救護と搬送をおこないます。

※当日は休園日です。来園客の予定はありません。

※訓練開始10分前にビジターセンターにお集まり下さい。

※逃走経路などの訓練情報を、ビジターセンターでお渡しいたします。

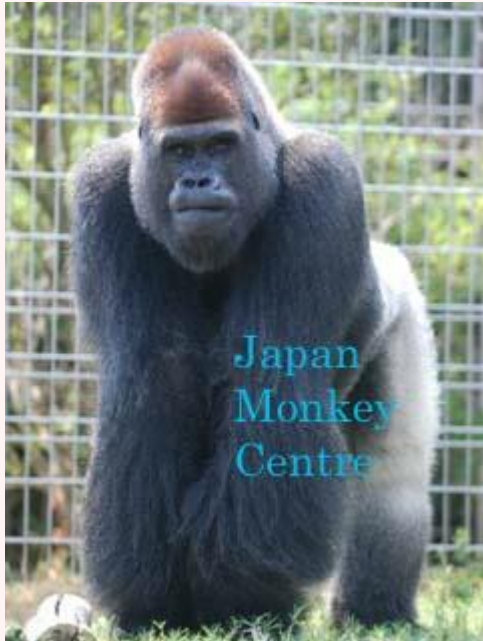
### 本件に関するお問い合わせ先

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林26  
公益財団法人日本モンキーセンター 学術部  
TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp  
担当: 附属動物園部 坂口、星野、山田 学術部 高野、赤見、江藤

【資料:ニシローランドゴリラについて】

※ニシローランドゴリラは、ニシゴリラの亜種のひとつです。

## ニシローランドゴリラ



英名	Western Lowland Gorilla
学名	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>
CITES	I
IUCN	CR

分布



ナイジェリアからコンゴにかけてのアフリカ大陸西部

会える場所

[アフリカセンター](#)

- 現生では最大級の霊長類。
- 性差が大きく、オスは大きいもので体重 200kg を超えるものもいるが、メスは 100kg を超えることはない。
- オトナのオスは背中の中毛が白くなり、シルバーバックと呼ばれる。
- 1頭のシルバーバックと複数のメスとその子供によるハーレム型の集団をつくる。大きな群れでは複数のシルバーバックが存在することもある。
- 果実や草、葉、つるなどを主に食べる。
- 地上では、手の指の中節の背側を地面につけるナックル歩行で移動する。大きな体だが、実は木登りも得意。